

平成21年度 第11回 岩槻区区民会議・議事録

日時・場所

日 時 平成22年2月19日(金) 14:00~15:30

場 所 岩槻区役所第2別館1階 多目的室

出席者

(委員：16名 敬称略、50音順)

遊馬芳子、大塚勇、川端正明、久保田士朗、桑原博、小堤英雄、白川美恵子、
関根實、千原康正、千葉マサ子、戸塚順子、長谷川ます代、林久子、深井幸子、
細野和江、矢萩邦夫

(事務局：8名)

菊地区長、浅見副区長、横張くらし応援室長、田島区民生活部長、
小宮山コミュニティ課長、細田課長補佐、中村主査、若谷主事
コンサルタント(剣持・横山)

次第

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 区長あいさつ

4. 報告事項

(1) 第10回岩槻区区民会議議事録について

(2) いわつき魅力づくり部会の報告

(3) 人にやさしいまちづくり部会の報告

(4) 広報部会の報告

(5) 岩槻区民やまぶきまつり第5回実行委員会報告

(6) ひなまつりふれあいコンサート第5回実行委員会報告

5. 議事

(1) 平成22年度区民会議開催予定について

(2) 第3回ひなまつりふれあいコンサート運営委員の選出について

6. その他

7. 閉会

会議の概要

1．開会

(矢萩副会長より開会のあいさつがあった。)

2．会長あいさつ

(大塚会長よりあいさつと欠席者の確認があった。)

3．区長あいさつ

(菊地区長よりあいさつがあった。)

4．報告事項

(1) 第 10 回岩槻区区民会議議事録について

(資料：平成 21 年度第 10 回岩槻区区民会議・議事録)

会長より、第 10 回区民会議の議事録について、訂正意見を踏まえ修正済みのものを配布していること、この場で訂正意見がなければ、委員名を除いて公開する旨の説明があった。

(2) いわつき魅力づくり部会の報告 (資料：いわつき魅力づくり部会会議録)

部会長より報告があった。

視察研修は、1月20日(水)に実施した。訪問先は群馬県藤岡市の「ららん藤岡」、本庄市の「まちの駅」、行田市の「蔵のまちづくり」であり、事前に質問事項などを伝え、意見交換ができた。視察研修の感想は本日の部会で話し合うが、岩槻でもこのような取り組みを始めたら良いという感想を持った。区民会議として何ができるか、話し合っていきたい。吊し飾りについては、これまでやまぶきまつりなどで展示してきたが、区役所のロビーでの展示ができることになった。今後、まちかどひなめぐりに際しての展示もしていきたい。愛称もつけたいと思っている。さらに、現在はボランティアの参加を得て製作しているが、継続的な取り組みとなるよう、仕組みづくりも考えていきたい。

市政への提言について、平成 23 年度の予算化を考えた場合、平成 22 年度末の提出では間に合わないことが考えられるので、夏までに、提出できるもの・提出したいものの整理をしたうえで、まとめてみたい。

(3) 人にやさしいまちづくり部会の報告 (資料 : 人にやさしいまちづくり部会会議録)

部会長より報告があった。

千葉市土気地区への視察研修の成果について、部会で話し合った。学ぶべき点としては、地域福祉活動推進委員制度が機能していること、ボランティアの組織やリーダーがしっかりしていること、内容がバランス良く計画されていること、会場の立地条件が良いことなどがあげられた。また、気づいた点としては、リーダーに拠るところが大きく欠けた場合はどうするのか懸念されること、スタッフに男性の姿が見られなかったこと、志しある人がまとまってことに当たらないと続かないと思われたこと、などがあげられた。

危険箇所については、11箇所について、A危険を表示する標識の設置、B注意を呼びかける人的対応、C警察や市・区への橋渡し、D安全につながるグッズ、スロープの設置など対応策を区分していった。この中には、早速、区くらし応援室に対応頂いたものもある。

本日の部会では、今年度のまとめと、平成22年度の活動について話し合いたい。

(4) 広報部会の報告

部会長より報告があった。

まちづくりの“め”第13号については、現在、頂いた原稿を編集している最中である。原稿を執筆頂いた委員には、この場を借りてお礼を申しあげたい。

今後のスケジュールは、22日に初校、26日に2校、3月4日に3校、10日に校了の予定となっているので、3月11日の全体会では、皆さんにお示しできると思う。

なお、第13号は若草色を基調としたデザインになっている。4月1日の配布予定になっているので、今後とも、皆さんにはご協力をお願い申しあげたい。

会 長：部会からの報告に対し、何か意見・質問はあるか。この場は、全体的な目線から議論する場であるので、どんどん発言してもらいたい。では私から質問するが、去る1月20日の視察研修の感想は、いつまでに提出すればよいのか。

事務局：本日までとなっている。

会 長：皆さん、今日までということなので、提出をお願いしたい。ところで皆さんに伺いたいが、来たる3月18日に“歴史と文化のまち岩槻散策”を実施するわけであるが、このように、来年度、区民会議として実施すべきことのアイデアはあるか。

委 員：区民会議の役割は、実働部隊となることではないと考えている。具体的な地域活動

は、それぞれの団体にお任せしていけばよい。むしろ、それぞれの団体が個々に取り組んでいる活動に対し、結びつける、手伝う、またそれに関連して市や区に提案する、働きかけるなどしていくのが、区民会議の役割と考えている。

会 長：もちろん、究極的な姿はそのとおりである。私は、本会議の議論を活性化する趣旨で申しあげた。皆さん、他に意見はあるか。

委 員：区民会議の活動には、何種類かあると思う。市や区に提言すべきもの、自分たちで働きかけていけるものなど、整理する必要がある。

委 員：自分たちで働きかけていけるものの例として、自治会長さんに働きかけて危険箇所を解消するとか、このほか例えば、花いっぱい運動の団体に働きかけて、駅前に花を置くなども考えられる。

会 長：そのような視点のほか、単年度でまとめられるもの、継続的に取り組むべきものといった考え方もあるだろう。他に意見はあるか。

委 員：視察研修と関連させて申しあげると、「まちの駅」は良い発想だと思った。今度、埼玉県には「赤ちゃんの駅」というのができるそうだが、この「駅」という発想を活かして、何かできないかと考えた。

委 員：広報部会に質問するが、区民会議とコミュニティ会議の関係について、どのように整理しているか。

委 員：確かに、一般の区民の皆さんにご理解頂けるよう整理するのは難しいところである。もちろん、区民会議とコミュニティ会議は異なるもので、私の理解では、まちづくりにおける“クルマの両輪”なのだが、必ずしもそうならない現実がある。

会 長：広報誌上で、ご理解頂けるよう工夫したらどうか、という意見だと思う。

委 員：区民会議の委員を1年経験してみても、区民会議とコミュニティ会議との関係性など、わかりにくいと感じる部分が多い。一般の区民の皆さんにはさらにわかりにくいだろうから、コミュニティ会議の一覧表を掲載してみたらどうか。

委 員：コミュニティ会議の一覧表ならば、過去に掲載したことがある。

委 員：いずれにしても、もっとPRしないと、一般の区民の皆さんにはわかりにくいだろう。

会 長：区民会議とコミュニティ会議の連携体制など、この岩槻区区民会議が他の区民会議に先んじていると言える部分もあるが、いずれにしても、一般の区民の皆さんにご理解頂けるように、情報を出していく必要がある。そのことについて言えば、先般、

私が大宮区区民会議を訪ねたときには、NHKが来ていた。こちらの“歴史と文化のまち岩槻散策”にも来てもらい、PRする。それも一つの方法だと思う。他に意見・質問はあるか。

一 同:(意見・質問なし)

(5) 岩槻区民やまぶきまつり第5回実行委員会報告

(資料: 岩槻区民やまぶきまつり第5回実行委員会資料)

実行委員である千原委員より、報告があった。

先日、第5回実行委員会が開催された。委員会では、収支決算報告と今年度の課題について話し合った。

決算については、資料のとおりである。収入総額 8,010,000 円、支出総額 7,979,734 円であり、残金は市に返却した。

課題については、シャトルバス運行状況の偏り、出店者から参加料を頂いてもいいのではないかということ、駐輪場が満杯となったことなどが話し合われた。

(6) ひなまつりふれあいコンサート第5回実行委員会報告

(資料: ひなまつりふれあいコンサートちらし)

実行委員である戸塚委員より、報告があった。

お手元のチラシのとおり、第3回ひなまつりふれあいコンサートを開催する。先日の実行委員会では、最終的なプログラム、役割分担のほか、マナー向上やロビーの活用について話し合われた。

来たる3月7日(日)、市民会館いわつきで開催する。12:00開場であり、第1部は地元団体の皆さんの演奏、第2部はアーティストを招いてのステージとなる。

当日はぜひ、皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加いただきたい。

会 長: 実行委員からの報告について、何か意見・質問はあるか。

一 同:(意見・質問なし)

5. 議事

(1) 平成22年度区民会議開催予定について(資料: 平成22年度区民会議開催予定案)

事務局より、以下のとおり説明があった。

今年度は、年度初めにアンケートにお答え頂き、その結果を踏まえて日程案を作成したが、残念ながらお仕事などの関係で、ご出席が難しい委員さんもおられた。

このため平成22年度は、夜間開催、土曜開催も織り込みながら、できるだけ多くの委員さんにお集まりいただけるよう、案を作成してみた。なお、夜間開催については、岩槻区区民会議では初めての試みであるが、他区の区民会議では夜間に開催している事例も結構多いようだ。

夜間開催とした場合、部会の時間をどう確保するかが問題となる。これまで岩槻区区民会議では、全体会と部会を同日開催してきたが、これは別にそうしなければいけない決まりはないと思うので、部会長さんの判断で、適宜開催していただければよろしいかと思う。

会 長：事務局からの説明について、何か意見・質問はあるか。お仕事などの関係で、夜間でないと出席が難しい委員もおられるだろうことから、夜間開催を取り入れてみたら、という提案である。

委 員：事前送付して頂いた案と、本日資料として配付された案とでは、どこが異なるのか。

事務局：4月19日が、20日に変更になっている。

(2) 第3回ひなまつりふれあいコンサート運営委員の選出について

会 長：ひなまつりふれあいコンサート実行委員会から、運営委員の選出について依頼があった。2名選出したいが、皆さん、立候補や推薦はあるか。

一 同：(立候補・推薦なし)

会 長：立候補や推薦がないようなので、私から提案する。白川副会長と遊馬委員さんではどうか。

一 同：(異議なし)

会 長：では、白川副会長と遊馬委員さん、よろしく願いしたい。

6. その他

コンサルタントより、以下について説明があった。

活動報告書の作成についてだが、大きく「 . 岩槻区区民会議とは」「 . 平成21年度の活動内容」「 . 参考資料」とし、概ね、これまでを踏襲した構成にしようと考えている。

次回全体会で素案をお示しするので、ご検討頂きたい。

事務局より、以下について説明があった。

先般、区役所ロビーにて、やまぶきまつりで使用したパネルを展示したところ、大きな反響があった。ロビー展示だけではもったいないという意見があり、今後、公民館や学校でも展示してもらうこととした。さしあたり、林委員さんをお願いして太田小学校に展示することとなった。

“歴史と文化のまち岩槻散策”であるが、大塚会長に同行し、他区の区民会議に依頼して回った。その結果、70名程度の参加が得られる見込みとなった。当日の誘導、意見交換の流れなどの詳細は、実行委員会にて話し合うことになる。

会 長：以上について、何か意見・質問はあるか。

委 員：活動報告書の作成につき、われわれが改めて執筆しなければならない部分はあるか。

コンサルタント：委員の皆さんには、これまで、まちづくりの“め”の作成などを通じて、文章を寄せて頂いている。これらをできるだけ活かしながら、基本的には、コンサルタントが整理したいと考えている。

会 長：事務局とコンサルタントは、よく連絡を取り合って進めてほしい。他にあるか。

委 員：“歴史と文化のまち岩槻散策”についてであるが、70名程度となると、うちのお店に入りきらない。工夫が必要だと思う。

会 長：出発を時間差にするなど、実行委員会で検討してほしい。他にあるか。

一 同：(意見・質問なし)

会 長：なければ、以上で区民会議を終了する。このあと部会があるので、引き続きよろしくお願いしたい。

7. 閉会

(白川副会長より、閉会のあいさつがあった。)

次回開催予定

第12回区民会議は、平成22年3月11日(木)14:00より、多目的室にて開催する。

以 上